

## 令和2年(2020年)県政おもなできごと in 南信州

この一年を振り返り、南信州地域のおもなできごとをまとめました。




### 通年

#### ●新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組んでいます

県内では2月25日に初めての感染者が確認され、3月26日には特別措置法に基づく長野県対策本部南信州地方部を設置しました。その後も感染が拡大し、4月16日には国の緊急事態宣言が、長野県を含む全国に拡大されました。

南信州地方部では、電話相談等の各種窓口の設置や検体搬送、地元ケーブルテレビ局やFMラジオ局のご協力による広報・啓発活動、業種別ガイドラインの周知等に取り組んできました。また、飯田合同庁舎では、入庁方法の変更のお願い、共用部分や執務室の消毒など、感染防止対策を実施しました。

#### <管内の主な取り組み>

|     |   |  |
|-----|---|--|
| 5月  | <p>・ <b>小中学生向け「手洗い励行チラシ」の作成・配付</b></p> <p>南信州地域振興局、飯田保健福祉事務所、南信教育事務所飯田事務所が共同で手洗いを呼びかけるチラシを作成し、管内の小中学生に配布しました。</p>   |   |
| 6月～ | <p>・ <b>「南信州地域産業・雇用総合サポートセンター」の設置</b></p> <p>経済的影響を受けた事業者を支援するため、商工観光課内に窓口を設置し、ハローワーク飯田や南信労政事務所等と連携して、国の持続化給付金や雇用調整助成金等に関する申請のサポートを行いました。</p> <p>・ <b>「県庁・合庁一斉フードドライブ」の開催</b></p> <p>新型コロナウイルスの影響により、食料支援を必要としている家庭を応援するため、6、10、11月の3回、飯田合同庁舎でフードドライブを開催しました。食品をお届けしたご家庭からは「家族一同とても助かりました。」など、多くの感謝の声が届いています。</p> | <br><br> |

|     |   |  |
|-----|---|--|
| 7月～ | <p>・ <b>オンラインを活用した「移住・定住の取組」、「就活セミナー」の実施</b></p> <p>全国で働き方の見直しやテレワークが進み、改めて地方への移住が脚光を浴びるようになった今、各種イベントの実施方法を従前の対面式からオンラインによるリモート式に変更し、全国各地とつないで南信州の魅力を発信しています。</p>            |   |
| 8月～ | <p>・ <b>感染拡大防止のための業種別ガイドラインの周知</b></p> <p>南信州地方部にガイドライン周知・推進チームを設置し、事業者の皆様へ感染防止対策の徹底、新型コロナ対策推進宣言への参加を呼び掛けるとともに、各種支援制度を案内しました。</p>   |   |
| 10月 | <p>・ <b>「南信州ドライブマップ（秋・冬版）」を発刊</b></p> <p>南信州にお越しいただいた方に安心して観光を楽しむだけでなくとともに、観光事業者や農家の支援にもつなげようと、県の「新型コロナ対策推進宣言」に基づいた営業をしている体験コンテンツや農産物直売所を中心に、「旅ナカ」の施設を紹介するドライブマップを発刊しました。</p> |  |

## 1 月

### ●国道 418 号天龍村早木戸で大規模崩落が発生【建設事務所】

国道 418 号天龍村早木戸において、1 月に法面が大規模に崩落し、現在も通行止めとなっています。迂回路が狭く、地域住民等の日常生活に支障をきたしているため、早期復旧に向けて、バイパストンネルの工事に着手しました。(令和 2 年 12 月着工)



## 3 月

### ●都市計画道路 羽場大瀬木線「切石～北方工区」が開通！【建設事務所】

羽場大瀬木線は飯田市中心市街地を 4 車線で囲む「飯田都市環状道路」構築の一部で、南信州地域の道路ネットワークを形成する上で極めて重要な道路として、早期の整備が望まれてきました。

「切石～北方工区」の開通をもって、当路線の 4 車線区間約 3 キロが全区間開通となりました。



4 月

### ●「リニア活用・企画振興課」の設置！【地域振興局】

リニアバレー構想の具体化や伊那谷自治体会議の運営など、県庁建設部リニア整備推進局で行われていた地域振興に関する業務を、長野県駅が設置される当地域の地域振興局が行うこととなりました。

それに伴い、リニア活用推進担当の副局長が配置されるとともに、「企画振興課」が「リニア活用・企画振興課」に再編されるなど体制が強化されました。



6 月

### ●～広がれ「竹」の利活用～

### ●SNSで「竹取再生」の魅力を発信！【地域振興局】

放置された竹林の整備に向け、竹資源の利活用を広めようと、6月からSNSで、「地域産メンマ」づくりなどの様々な取り組みや竹資源の魅力の発信を始めました。

また、12月には「竹ビニールハウスづくりワークショップ」を初開催し、地域の皆様に「竹取再生」の魅力を伝えました。



7 月

### ●7月豪雨により甚大な被害が発生【地域振興局・建設事務所】

6月末から梅雨前線に伴う大雨が続き、7月8日には飯田市、阿南町、阿智村、下條村、売木村に管内初めてとなる「大雨特別警報」が発表されました。その後も大雨が長期にわたって続き、喬木村では県道の法面の崩落により孤立集落が発生するなど、甚大な被害が発生しました。

この豪雨による災害は「激甚災害」に指定され、現在、国の災害復旧事業等を活用して、復旧を進めているところです。



8 月

### ●道の駅に「サイクルステーション」を設置！【建設事務所】

県の自転車施策の一環として、健康の増進、環境保全、観光振興等における自転車活用を促すとともに、自転車利用者に快適な空間を提供することを目的に、管内の道の駅に、「サイクルステーション」を設置しました。なお、8月に5カ所、12月に1カ所の設置をもって、管内全ての道の駅に「サイクルステーション」が整備されました。



10 月

### ●～プラスチックスマート推進を宣言～

#### 南信州プラスチックスマート推進協議会が発足【地域振興局】

全国一斉レジ袋有料化を機に、より幅広いプラスチックごみ削減の視点に立った取り組みを広げるため、「南信州レジ袋削減推進協議会」を「南信州プラスチックスマート推進協議会」に改めました。

海洋のマイクロプラスチックなど、プラスチックごみによる環境への影響が懸念されているなか、官民協働・地域一丸となって上流域からプラスチックスマートの推進に取り組むことを宣言しました。



11 月

### ●高森町と豊丘村を新たな幹線道路で結ぶ「竜神大橋」建設に着手【建設事務所】

近隣の商業、工業施設へのアクセスの向上を図り、地域の発展と円滑で安全な交通の確保を目指し、高森町と豊丘村を新たな幹線道路で結ぶための「竜神大橋」の建設に着手しました。



信州版「新たな日常のすゝめ」



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

南信州地域振興局 総務管理課 総務係  
(課長) 山下 武喜 (担当) 青柳 あづみ  
電話：0265-53-0400 FAX：0265-53-0404  
E-mail：minamichi-somu@pref.nagano.lg.jp

飯田保健福祉事務所 総務課 総務係  
(課長) 手塚 靖彦 (担当) 佐々木 剛  
電話：0265-53-0442 FAX：0265-53-0469  
E-mail：iidaho-somu@pref.nagano.lg.jp

飯田建設事務所 総務課 総務係  
(課長) 松下 和永 (担当) 桜沢 文康  
電話：0265-53-0448 FAX：0265-23-1699  
E-mail：iidaken-somu@pref.nagano.lg.jp